

予算決算委員会

総務分科会

平成27年度鈴鹿市一般会計決算の認定（議案第55号）

（質問） 災害対策費の緊急避難所指定集会所耐震補強費補助について、緊急避難所に指定した棟のうち、耐震補強された棟の数は。また、耐震補強されていないのであれば、その周知が必要ではないか。

（答弁） 緊急避難所に指定した棟が202カ所あり、耐震基準を満たしている棟が182棟、耐震基

準を満たしていない棟が20棟ある。平成27年度に、郡山集会所と稲生の古里集会所の耐震補強の工事について補助を行った。

耐震基準を満たしていない避難所については、地域防災計画の資料編の中で、「耐震性が備わっていない」といった注意事項を掲載している。

文教環境分科会

平成28年度鈴鹿市一般会計補正予算（第1号）（議案第41号）

（質問） 地域未来塾に係るICT機器等整備事業について、どのような機材を購入するのか。また、普段の授業に利用することは可能なのか。

（答弁） 地域未来塾とは、国が平成27年度から進めている事業であり、経済的な理由や家庭の事情などにより、家庭での学習が困難な場合や学習習慣が身につけていない中学生などを対象

に、原則無料で学習支援を行う事業である。

今回は神戸中学校で行う予定であり、タブレット型のパソコンや書画カメラ、無線LANなどを購入予定である。基本的には放課後や土曜日の補習授業での利用となるが、通常の授業でも活用できる規定となっている。

地域福祉分科会

平成28年度鈴鹿市一般会計補正予算（第1号）（議案第41号）

（質問） B型肝炎ワクチンの予防接種費を、補正予算で計上するのではなく、平成28年度の当初予算に計上することはできなかったのか。また、予防接種の対象や、補助の内容を問う。

（答弁） 予防接種法施行令の改正が、平成28年4月1日以降であったので、当初予算を計上する際には示されていなかった。

次年度については、当初予算で計上する。定

期の予防接種の対象となるのは、平成28年4月1日以降に生まれた1歳未満の者で、ワクチン接種に当たり全額を市が支払う。定期の予防接種の対象から外れる、平成28年3月31日以前に生まれた1歳未満の者については、本市が単独で任意の予防接種として、ワクチン接種1回当たり2,000円の補助を行う。

産業建設分科会

平成27年度 鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定（議案第61号）

（質問） 営業収益における給水収益の減少の原因と今後の見通し。

（答弁） 人口減少や天候なども関係するが、トイレなどの節水機器の普及や、生活習慣の変化によるシャワーのみの利用によって水道使用量が低下

したことが原因であると考えられ、1世帯当たりを年間で換算すると、約1万3千円の減となっている。

現状は底打ちであり、今後は横ばいになると分析している。